

ほうしていえん
法師庭園

種 別	登録記念物 名勝地関係
登録年月日	令和4年11月10日
所在地	小松市粟津町

法師庭園は、粟津温泉の老舗旅館の庭園である。庭園は、宿泊棟に囲まれた中に造営され、その中央に明治44年（1911）頃に建てられた特別な宿泊施設「延命閣」があり、建物を挟んで大きく南側と北側の地割に分けられる。

南側の地割では、複数の池泉、築山、飛び石、灯笼等石造物が配置されており、豪壮雄健な岩組みの築山と池泉を中心に、縦横に配された飛び石を辿りながら、趣のある樹叢の中を回遊することができる。

また、水路の擬木護岸や大型の石造物を配置する造園手法は、大正時代から昭和初期にかけての流行を取り入れたことを窺わせており、時代を特徴づける造形を今に伝える事例として、名勝地に登録し後世に伝えていくべき庭園である。



法師庭園 築山



法師庭園 池泉